

授業科目名	教育心理学(Educational Psychology)		
科目番号	92200(産業技術学部)	授業形態	講義
単位数	2単位	履修年次	1年次
教員の免許状取得のための必修・選択	必修	受講対象	産業技術学部
担当教員(研究室)	長南 浩人 (障害者高等教育研究支援センター:天久保:メディアセンター401)		
実務経験のある教員による授業科目	高等学校及び特別支援学校において教諭としての指導経験がある教員が、その経験を生かして指導することで、学生は実践的な知識や技能について学ぶことができる。		
免許法施行規則に定める科目区分等	教育の基礎的理解に関する科目		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育に関係する様々な心理現象のメカニズムを教育心理学的観点から多面的に考察できる。</li> <li>・基本的な教育心理実験・心理測定法・心理テストについて原理・手法・結果の関係を理解する。</li> <li>・学習障害や発達障害、情緒障害などの心理メカニズムを知り、学習支援の適切な対応ができる。</li> <li>・学習と情動の基礎としての脳内情報処理の基礎過程を理解する。</li> <li>・生徒の教育評価ができる。</li> </ul>		
授業概要	学校教育に関係する教育心理学の諸領域を総合的に学ぶ。教室における教育心理学的諸問題に対応できるように生徒の心理状態の特質および学習や障害に関わる心理メカニズムについて学ぶ。		
時間外学修の内容と時間の目安	<p>準備学修 授業前に、関連図書や文献を読む。(2H)</p> <p>事後学修 授業後に、資料や文献等を用いて、課題を解決し、また発展的な学習を行う(2H)</p>		
授業計画	<p>第1回:教育心理学とは何か。</p> <p>第2回:心理学諸理論からの学習へのアプローチ(行動論・認知論・情報処理論)</p> <p>第3回:記憶の基礎理論</p> <p>第4回:記憶と学習</p> <p>第5回:思考の理論</p> <p>第6回:思考の発達</p> <p>第7回:発達:乳幼児期から児童期</p> <p>第8回:発達:青年期から老年期</p> <p>第9回:動機づけと学習</p> <p>第10回:知能の基礎理論</p> <p>第11回:知能テストの理論と実際</p> <p>第12回:学力の測定と評価・テスト作成理論</p> <p>第13回:知的障害、学習障害、情緒障害</p> <p>第14回:パーソナリティの測定と評価</p> <p>第15回:教育統計</p> <p>期末試験</p>		
テキスト	西村純一・井森澄江編「教育心理学エッセンシャルズ」(ナカニシヤ出版、2006)		

参考書・参考資料等	中学校学習指導要領(文部科学省) 高等学校学習指導要領(文部科学省) やさしい教育心理学 第5版(有斐閣アルマ, 2019)
成績評価方法	期末試験(60%)、レポート(20%)、授業への積極的な取り組み(20%)。
成績評価基準	A+: 到達目標を達成し、特に優秀な成績を修めている A: 到達目標を達成し、優秀な成績を修めている B: 到達目標を達成し、良好な成績を修めている C: 到達目標を最低限達成している。 D: 到達目標に達していない

授業科目名	教育心理学(Educational Psychology)		
科目番号	82200(保健科学部)	授業形態	講義
単位数	2単位	履修年次	1年次
教員の免許状取得のための必修・選択	必修	受講対象	保健科学部
担当教員(研究室)	長南 浩人 (障害者高等教育研究支援センター:天久保:メディアセンター401)		
実務経験のある教員による授業科目	特別支援学校での勤務経験を有する。教科指導、生活指導での事象を挙げながら講義を行うことで、学生は心理学的諸問題や生徒の心理状態を具体的にイメージした上で考察することができる。		
免許法施行規則に定める科目区分等	教育の基礎的理解に関する科目		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育に関係する様々な心理現象のメカニズムを教育心理学的観点から多面的に考察できる。</li> <li>・基本的な教育心理実験・心理測定法・心理テストについて原理・手法・結果の関係を理解する。</li> <li>・学習障害や発達障害、情緒障害などの心理メカニズムを知り、学習支援の適切な対応ができる。</li> <li>・学習と情動の基礎としての脳内情報処理の基礎過程を理解する。</li> <li>・生徒の教育評価ができる。</li> </ul>		
授業概要	学校教育に関係する教育心理学の諸領域を総合的に学ぶ。教室における教育心理学的諸問題に対応できるように生徒の心理状態の特質および学習や障害に関わる心理メカニズムについて学ぶ。		
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修 事前配付資料を読み、疑問点やより深く学びたい点をまとめておく (2H) 事後学修 講義内容についてわかったこと、考えたことをまとめる (2H)		
授業計画	第1回:教育心理学とは何か。 第2回:心理学諸理論からの学習へのアプローチ(行動論・認知論・情報処理論) 第3回:記憶の基礎理論 第4回:記憶と学習 第5回:思考の理論 第6回:思考の発達 第7回:発達:乳幼児期から児童期 第8回:発達:青年期から老年期 第9回:動機づけと学習 第10回:知能の基礎理論 第11回:知能テストの理論と実際 第12回:学力の測定と評価・テスト作成理論 第13回:知的障害、学習障害、情緒障害 第14回:パーソナリティの測定と評価 第15回:教育統計 期末試験		
テキスト	西村純一・井森澄江編「教育心理学エッセンシャルズ」(ナカニシヤ出版、2006)		

参考書・参考資料等	大村彰道「教育心理学1 発達と学習指導の心理学」(東京大学出版会、1996) 大村彰道「教育心理学2 発達と臨床援助の心理学」(東京大学出版会、1998)
成績評価方法	期末試験(60%)、レポート(20%)、授業への積極的な取り組み(20%)。
成績評価基準	A+: 到達目標を達成し、特に優秀な成績を修めている A: 到達目標を達成し、優秀な成績を修めている B: 到達目標を達成し、良好な成績を修めている C: 到達目標を最低限達成している。 D: 到達目標に達していない